



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月6日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
 コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 倉井 敏磨
 (氏名) 西川 伸起

TEL 03-3283-5041

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	499,625	6.1	38,398	△21.6	62,672	△2.5	50,160	14.2
30年3月期第3四半期	471,110	15.0	48,952	51.3	64,261	42.1	43,919	24.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 49,271百万円 (△12.8%) 30年3月期第3四半期 56,528百万円 (35.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	234.81	—
30年3月期第3四半期	203.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	803,583	551,799	62.2
30年3月期	785,687	519,144	59.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 499,569百万円 30年3月期 467,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	24.00	—	35.00	59.00
31年3月期	—	35.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	650,000	2.2	45,000	△28.3	76,000	△5.8	61,000	0.8
							円 銭	
							285.54	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	231,739,199 株	30年3月期	231,739,199 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	18,098,910 株	30年3月期	18,135,027 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	213,626,854 株	30年3月期3Q	215,597,970 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
3. その他	11
平成31年3月期第3四半期決算概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)における世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、通商問題の動向や中国経済の減速、金融資本市場が与える影響が懸念され、先行きへの不透明感が高まりました。国内経済は、人手不足による生産・物流コストの上昇がありましたが、雇用・所得環境の改善が継続するなど、緩やかな回復の動きを見せました。

当社グループを取り巻く経営環境は、原燃料価格の上昇に加え、これまで高い水準を維持してきたポリカーボネート、高純度イソフタル酸の市況が下落基調に転じるなどの変化もみられました。

このような経営環境において、当社グループは、グループビジョン「社会と分かち合える価値の創造」のもと、中期より新たにスタートした中期経営計画「MGC Advance2020」の基本方針に基づき、基本施策「中核事業を中心とした既存事業の収益力強化」、「新規事業の創出と育成」、「最適な事業ポートフォリオに向けた投資戦略の実行」等を進め、企業価値の向上に努めてまいりました。

当社グループの売上高は、メタノールの市況が昨年11月以降に下落したものの前年同期に比べ高水準であったことや、販売数量が全体として堅調に推移したことなどから、増収となりました。

営業利益は、特殊ポリカーボネートの販売数量が増加しましたが、原燃料価格が上昇するなかで、発泡プラスチック事業の採算が悪化したほか、高純度イソフタル酸およびポリカーボネートの市況も下落したことなどから、減益となりました。

経常利益は、海外メタノール生産会社を中心に持分法利益が増加したものの、営業利益が減少したことにより、減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、カナダ シェールガス・LNGプロジェクトに関する投資有価証券評価損を計上した前年同期に比べ特別損失が減少したことなどにより、増益となりました。

以上の結果、売上高4,996億円(前年同期比285億円増(6.1%増))、営業利益383億円(前年同期比105億円減(21.6%減))、持分法利益244億円(前年同期比104億円増(74.9%増))、経常利益626億円(前年同期比15億円減(2.5%減))、親会社株主に帰属する四半期純利益501億円(前年同期比62億円増(14.2%増))となりました。

なお、平成30年12月4日に「持分法適用会社(日本・サウジアラビアメタノール株式会社)の合弁事業について」で公表いたしましたとおり、当社の持分法適用関連会社である日本・サウジアラビアメタノール株式会社(以下、JSMC)とサウジ基礎産業公社(Saudi Basic Industries Corp.(以下、SABIC))は、平成30年11月29日を合弁契約期限とするSaudi Methanol Company(以下、AR-RAZI)について、JSMCが所有するAR-RAZI株式の50%(AR-RAZI総株式の25%相当)を150百万米ドルにてSABICに売却(以下、「本株式売却」)し、出資比率を25:75にするとともに、平成31年3月末までに合弁事業の継続に関し最終的な意思決定を行うことで合意しております。

本株式売却に伴い、当社の連結業績への影響として、株式売却による損失が50億円程度発生する見込みですが、当第3四半期連結累計期間においては、現時点で負担が見込まれる税金関連費用17億円について持分法投資損益に計上しております。また、JSMCのAR-RAZIへの出資比率減少に伴い、持分法投資損益が減少することが見込まれます。ただし、本株式売却手続きは各国の公正競争当局の承認後に手続きが完了する予定であり、業績に影響を与える時期については現時点で未定のため、当第3四半期連結累計期間においては、合弁契約期限である平成30年11月29日以降の期間についても、本株式売却前の出資比率(50:50)によりJSMCに係る持分法損益を計上しております。

事業セグメント別の業績

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。そのため、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を当該変更後の数値で比較しております。

〔天然ガス系化学品事業〕

メタノールは、市況が前年同期に比べ上昇したことなどから、増収増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、全般的な販売数量の増加に加え、MMA系製品の市況上昇などもあり増収となりましたが、原料価格が上昇したことなどから、減益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油価格が上昇したものの、原油販売数量が減少したことなどから、前年同期並みの損益となりました。

以上の結果、売上高1,380億円（前年同期比199億円増（16.9%増））、営業利益31億円（前年同期比1億円減（4.6%減））となりました。また、海外メタノール生産会社を中心とする持分法利益を179億円計上した結果、経常利益は207億円（前年同期比97億円増（89.0%増））となりました。

〔芳香族化学品事業〕

特殊芳香族化学品は、原燃料価格の上昇があったものの、メタキシレンジアミンや芳香族アルデヒドの販売が堅調に推移したことなどから、増収増益となりました。

汎用芳香族化学品は、原燃料高に加え、高純度イソフタル酸の市況下落により採算が悪化したこともあり、減益となりました。

発泡プラスチック事業は、原燃料価格の上昇などにより減益となりました。

以上の結果、売上高1,623億円（前年同期比13億円増（0.9%増））、営業利益155億円（前年同期比61億円減（28.2%減））、経常利益150億円（前年同期比59億円減（28.3%減））となりました。

〔機能化学品事業〕

無機化学品は、販売数量の増加により売上高は増加したものの、半導体・液晶向け薬液の競争環境の激化などにより、減益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、スマートフォンのカメラレンズ向け等に使用される特殊ポリカーボネートの販売数量が増加したものの、ポリカーボネート・ポリアセタールの採算悪化やフラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売数量の減少もあり、減益となりました。

以上の結果、売上高1,578億円（前年同期比62億円増（4.1%増））、営業利益178億円（前年同期比44億円減（20.0%減））となりました。また、エンジニアリングプラスチックス関連会社を中心とする持分法利益を57億円計上した結果、経常利益は230億円（前年同期比49億円減（17.6%減））となりました。

〔特殊機能材事業〕

電子材料は、第3四半期に入り、スマートフォン向けの需要減退やメモリーの供給過剰感が見られたものの、主力の半導体パッケージ用BT材料の販売数量が前年同期を上回り、増収増益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、国内食品市場における競争激化などにより、減益となりました。

以上の結果、売上高408億円（前年同期比9億円増（2.3%増））、営業利益37億円（前年同期比2億円増（5.9%増））となりました。また、持分法利益を6億円計上した結果、経常利益は43億円（前年同期比3億円減（8.3%減））となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は4億円（前年同期比0億円増（14.4%増））、営業利益は1億円（前年同期比0億円減（18.3%減））、経常利益は1億円（前年同期比0億円減（41.6%減））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて178億円増加の8,035億円となりました。

流動資産は、11億円増加の3,854億円となりました。増加の要因は、たな卸資産の増加などです。

固定資産は、167億円増加の4,181億円となりました。増加の要因は、投資有価証券の増加などです。

負債は、前連結会計年度末に比べて147億円減少の2,517億円となりました。流動負債は、短期借入金が減少したことなどにより82億円減少しました。固定負債は、長期借入金が減少したことなどにより65億円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて326億円増加の5,517億円となりました。増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことなどです。

この結果、自己資本比率は62.2%となりました

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成30年11月1日に公表しました平成31年3月期の連結業績予想などを修正しておりますので、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,090	84,553
受取手形及び売掛金	165,606	164,546
有価証券	121	81
商品及び製品	57,958	70,299
仕掛品	11,044	12,415
原材料及び貯蔵品	34,750	36,313
その他	14,847	18,220
貸倒引当金	△1,170	△1,020
流動資産合計	384,249	385,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	80,823	79,753
機械装置及び運搬具(純額)	81,359	78,245
その他(純額)	58,535	68,241
有形固定資産合計	220,717	226,240
無形固定資産		
のれん	3,911	3,934
その他	4,499	4,839
無形固定資産合計	8,411	8,774
投資その他の資産		
投資有価証券	161,391	172,146
その他	11,471	11,567
貸倒引当金	△555	△554
投資その他の資産合計	172,308	183,159
固定資産合計	401,437	418,173
資産合計	785,687	803,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,720	90,711
短期借入金	71,155	61,495
未払法人税等	4,133	2,510
引当金	5,643	3,138
資産除去債務	1,522	1,550
その他	35,660	39,188
流動負債合計	206,835	198,594
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,328	17,016
引当金	3,549	4,160
退職給付に係る負債	4,592	4,605
資産除去債務	2,420	2,447
その他	13,815	14,959
固定負債合計	59,707	53,189
負債合計	266,543	251,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,578	34,652
利益剰余金	399,033	434,240
自己株式	△19,966	△19,929
株主資本合計	455,616	490,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,261	12,276
繰延ヘッジ損益	△0	△1
土地再評価差額金	222	222
為替換算調整勘定	△7,614	△5,236
退職給付に係る調整累計額	1,878	1,373
その他の包括利益累計額合計	11,747	8,635
非支配株主持分	51,780	52,230
純資産合計	519,144	551,799
負債純資産合計	785,687	803,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	471,110	499,625
売上原価	353,474	390,064
売上総利益	117,635	109,560
販売費及び一般管理費	68,682	71,161
営業利益	48,952	38,398
営業外収益		
受取利息	323	435
受取配当金	2,007	2,089
持分法による投資利益	14,000	24,494
その他	3,304	2,707
営業外収益合計	19,636	29,726
営業外費用		
支払利息	784	791
出向者労務費差額負担	1,151	1,248
賃貸費用	835	1,187
その他	1,556	2,225
営業外費用合計	4,328	5,452
経常利益	64,261	62,672
特別利益		
投資有価証券売却益	1,105	989
固定資産売却益	—	714
特別利益合計	1,105	1,704
特別損失		
債務保証損失引当金繰入額	1,007	711
投資有価証券評価損	8,320	669
固定資産処分損	154	120
関係会社整理損	162	—
のれん償却額	102	—
事業撤退損	100	—
特別損失合計	9,847	1,501
税金等調整前四半期純利益	55,520	62,875
法人税等	7,230	9,757
四半期純利益	48,289	53,117
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,369	2,957
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,919	50,160

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	48,289	53,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,171	△5,010
繰延ヘッジ損益	△3	△1
為替換算調整勘定	2,878	△1,041
退職給付に係る調整額	△217	△458
持分法適用会社に対する持分相当額	1,410	2,665
その他の包括利益合計	8,238	△3,846
四半期包括利益	56,528	49,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,206	47,048
非支配株主に係る四半期包括利益	5,321	2,222

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	天然ガス系 化学品事業	芳香族化学品 事業	機能化学品 事業	特殊機能材 事業	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	118,145	160,983	151,661	39,908	411	—	471,110
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,000	646	708	17	61	△7,434	—
計	124,145	161,630	152,370	39,925	472	△7,434	471,110
セグメント利益 (経常利益)	10,989	20,932	27,946	4,760	234	△603	64,261

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△603百万円は、セグメント間取引消去99百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△702百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	天然ガス系 化学品事業	芳香族化学品 事業	機能化学品 事業	特殊機能材 事業	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	138,075	162,364	157,875	40,838	470	—	499,625
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,313	382	873	4	95	△7,670	—
計	144,389	162,747	158,749	40,843	566	△7,670	499,625
セグメント利益 (経常利益)	20,769	15,013	23,020	4,366	137	△633	62,672

- (注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額△633百万円は、セグメント間取引消去51百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△685百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. その他

平成31年3月期第3四半期 決算概要

①連結経営成績

(単位:億円)

	平成30年3月期 第3四半期	平成31年3月期 第3四半期	増減額		平成30年3月期 通期実績	平成31年3月期 通期予想
			増減額	増減率		
売上高	4,711	4,996	285	6.1%	6,359	6,500
天然ガス系化学品事業	1,241	1,443	202	16.3%	1,747	1,863
芳香族化学品事業	1,616	1,627	11	0.7%	2,131	2,130
機能化学品事業	1,523	1,587	63	4.2%	2,050	2,104
特殊機能材事業	399	408	9	2.3%	527	511
その他の事業及び調整額	△ 69	△ 71	△ 1	—	△ 98	△ 109
営業利益	489	383	△ 105	△21.6%	627	450
天然ガス系化学品事業	32	31	△ 1	△4.6%	54	32
芳香族化学品事業	216	155	△ 61	△28.2%	256	176
機能化学品事業	222	178	△ 44	△20.0%	296	233
特殊機能材事業	35	37	2	5.9%	42	34
その他の事業及び調整額	△ 18	△ 18	△ 0	—	△ 22	△ 27
営業外損益	153	242	89	58.6%	179	310
経常利益	642	626	△ 15	△2.5%	807	760
天然ガス系化学品事業	109	207	97	89.0%	142	270
芳香族化学品事業	209	150	△ 59	△28.3%	245	166
機能化学品事業	279	230	△ 49	△17.6%	379	292
特殊機能材事業	47	43	△ 3	△8.3%	55	43
その他の事業及び調整額	△ 3	△ 4	△ 1	—	△ 16	△ 13
特別損益	△ 87	2	89	—	△ 72	—
税金等調整前四半期(当期)純利益	555	628	73	13.2%	734	760
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	439	501	62	14.2%	605	610
1株当たり四半期(当期)純利益	203.71円	234.81円	31.10円		281.39円	285.54円

※ 平成31年3月期第3四半期 連結範囲 連結子会社 71社 持分法適用会社 16社

営業外損益項目

持分法による投資損益	140	244	104
金融収支	15	17	1
為替差損益	9	△ 7	△ 17
その他	△ 11	△ 11	△ 0
営業外損益合計	153	242	89

	182	320
	15	
	1	△ 10
	△ 20	
	179	310

特別損益項目

投資有価証券売却益	11	9	△ 1
固定資産売却益	—	7	7
特別利益その他	—	—	—
債務保証損失引当金繰入額	△ 10	△ 7	2
投資有価証券評価損	△ 83	△ 6	76
特別損失その他	△ 5	△ 1	3
特別損益合計	△ 87	2	89

	19	
	5	
	4	
	△ 10	
	△ 82	
	△ 7	
	△ 72	—

②連結財政状態

(単位:億円)

	平成30年3月期末	平成31年3月期 第3四半期末	増減額
流動資産	3,842	3,854	11
有形・無形固定資産	2,291	2,350	58
投資その他の資産	1,723	1,831	108
資産合計	7,856	8,035	178
有利子負債	1,069	889	△ 180
その他負債	1,595	1,628	32
負債合計	2,665	2,517	△ 147
株主資本	4,556	4,909	353
その他の包括利益累計額	117	86	△ 31
非支配株主持分	517	522	4
純資産合計	5,191	5,517	326
負債純資産合計	7,856	8,035	178

③各種指標推移(連結)

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 実績	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 実績	平成31年3月期 予想
設備投資額(億円)	222	305	350	309	440
(うち第3四半期累計)	147	226	241	232	287
減価償却費(億円)	237	267	256	270	270
(うち第3四半期累計)	178	198	188	200	203
研究開発費(億円)	168	189	192	189	200
(うち第3四半期累計)	123	137	142	142	138
期末人員数(人)	8,254	8,176	8,034	8,009	8,152
ROA(総資産経常利益率)	5.8%	5.9%	8.4%	10.6%	9.4%
ROE(自己資本利益率)	12.6%	9.0%	12.0%	13.6%	12.4%
1株当たり配当金	14.0円	16.0円	38.0円	59.0円	70.0円
(うち第2四半期末)	7.0円	8.0円	8.0円	24.0円	35.0円

④為替・市況前提

	平成27年3月期		平成28年3月期		平成29年3月期		平成30年3月期		平成31年3月期	
	実績		実績		実績		実績		実績	予想
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	4-12月	1-3月	4-12月	1-3月
平均為替レート(JPY/US\$)	103	117	122	118	105	112	112	108	111	110
平均為替レート(JPY/EUR)	139	139	135	130	118	119	129	133	129	125
原油価格(Dubai) (US\$/BBL)	104	63	56	36	43	51	53	64	71	55
メタノール(US\$/MT) ※1 (アジアスポット平均価格)	432	358	301	230	230	327	319	395	394	310
原料キシレン (US\$/MT)	1,100	730	740	630	660	680	660	765	825	650
ビスフェノールA ※2 (US\$/MT)	1,600 ~2,000	1,200 ~1,900	950 ~1,500	850 ~1,100	1,000 ~1,200	1,000 ~1,400	1,100 ~1,700	1,600 ~1,700	1,200 ~1,900	1,200 ~1,500
ポリカーボネート ※2 (US\$/MT)	2,500 ~2,700	2,300 ~2,700	2,100 ~2,650	2,000 ~2,400	2,200 ~2,500	2,400 ~2,800	2,500 ~3,600	3,600 ~3,900	2,100 ~3,800	2,100 ~2,500

※1 平成27年3月期は、上期:1-6月、下期:7-12月の価格を表記しております。

※2 期間中の最小値および最大値を表記しております。